

# 国を越えてつながり、 問いと学びを生み出す教育実践

—ICTを活用した日常的合同学習を通して—

サンホセ日本人学校(コスタリカ)  
現所属：茨城県つくば市立島名小学校  
宮本 豪

1



2



3



4



5



6



7

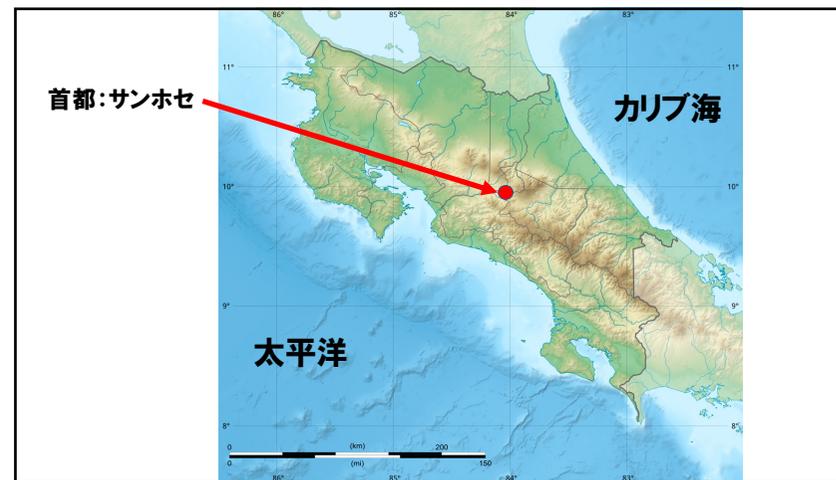


8

# サンホセ日本人学校



9



10



11



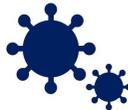
12

学年の隔たりがない  
温かな学校



13

新型コロナウイルスによる  
影響



14

R2年度4～12月  
R3年度5月～7月



約1年のオンライン授業

15

- × 対面
- × 隙間時間
- × 現地校などの外部交流

コミュニケーションの  
機会が激減

16

**サンホセ校**



**全校児童生徒10名程度**

17

**課題**



**小規模なため多様な考えに触れづらい**

18

**課題**



**小規模なため多様な考えに触れづらい**  
**➡ 多様な「問い」が生まれにくい**

19

**大きな課題の解決**  
↓  
**大きな変化へのチャンス**

20

「AG5」事業…ICTを活用した遠隔での教育の質向上

アグアスカリエンテス日本人学校(メキシコ)  
との合同研究



21

ICTを活用した日常的合同学習



人間関係の拡大  
多様な意見・価値観との交流

22

国を越えてつながり  
問いと学びを生み出す

23

児童生徒の  
思考力・判断力・表現力を  
大きく向上させることができる! ?



24

どのように  
研究を進めてきたのか

25

**1年目 「出会い」**



これからのパートナー  
として互いを知る

26

**2年目 「手立て」の追求**



オンラインによる  
「主体的・対話的で深い学び」  
を実現するために…

27

**2年目 「手立て」の追求**



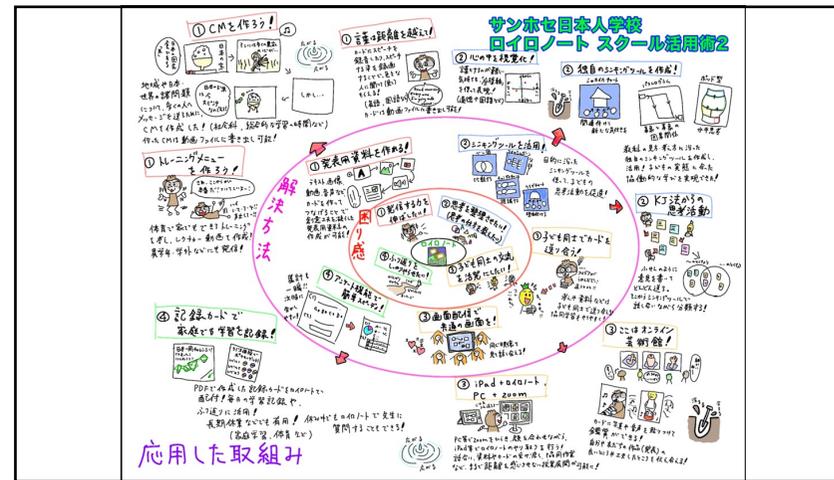
合同研修会

28

## 見出した手立てをまとめる ①グラフィックレコーディング

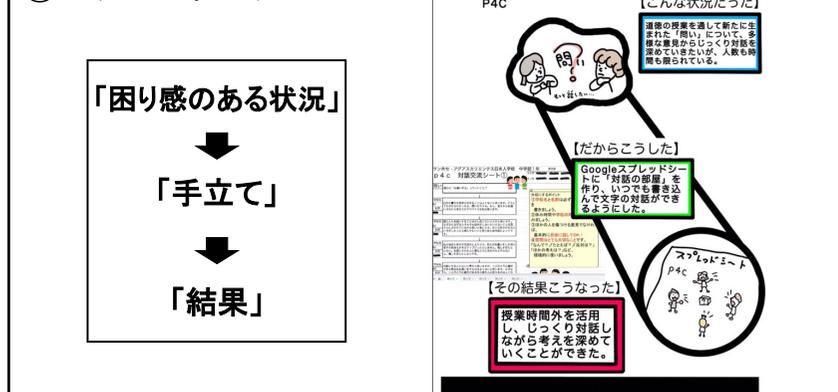


29



30

## 見出した手立てをまとめる ②パターンランゲージ



31



32

## 合同学習の 日常化

33

## 「特別」を 「普通」に

34

合同学習



直接交流

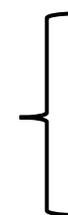


間接交流



35

合同学習



直接交流 51回

間接交流 37回

2021年5月～2022年1月

36

## 直接交流の実践紹介

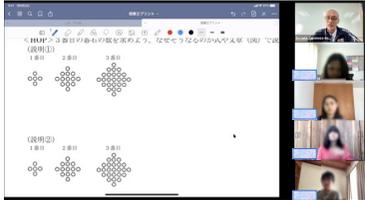


37

## 中1～中3 複式 数学



## 異なる学習段階を あえて活用した授業



38

## 小4 社会

### オンライン合同授業でも 活発な話し合いを！




**帽子をかぶって さあ話そう！**

**【こんな状況だった】**  
話し合いで意見がなかなか出なかったり、論点がずれたりする。

**【だからこうした】**  
話し合いの場面に「シックス・ハット」の6つの視点を導入した。

**【その結果こうなった】**  
論点がずれることなく、話すべき視点は足まり、話し合いが進んだ。

39

## 小1 道徳

### 役割演技で、友達の言動に 「！」「？」がたくさん！



40

## 中1～中3 複式 総合的な学習の時間

オンラインゲストティーチャー  
と仕事について協議する

41

## 間接交流の実践紹介

42

## 小3 社会

### 「わたしの住む市の様子 君の住む市の様子」

発表動画交流  
感想交流

43

## 中1 道徳

### 授業外でも「問い」を 持ちかけ、意見を交わす

#### p4c 対話交流シート①

**対話ルール！**

- 相手の発言を尊重し、相手の発言を否定しない。
- 相手の発言を尊重し、相手の発言を否定しない。
- 相手の発言を尊重し、相手の発言を否定しない。

**対話ルーム！**

手立て: Google スプレッドシート、p4c

**大切なポイント**

- ① **学校名と名前**は必ず記入して意見を書きましょう。
- ② **休み時間や学校の時間外**で書き込みましょう。
- ③ **ほかの人を傷つける意見**でなければ、基本的に自由に話してOK!
- ④ **質問はとも大切なこと**です。「なんで?」「たとえば?」「反対は?」「ほかの考えは?」など、積極的に使いましょう。

44

**小6 音楽**

一人学級でも  
オンラインで合奏！



45

**ICTを推進していく上で気になること…**



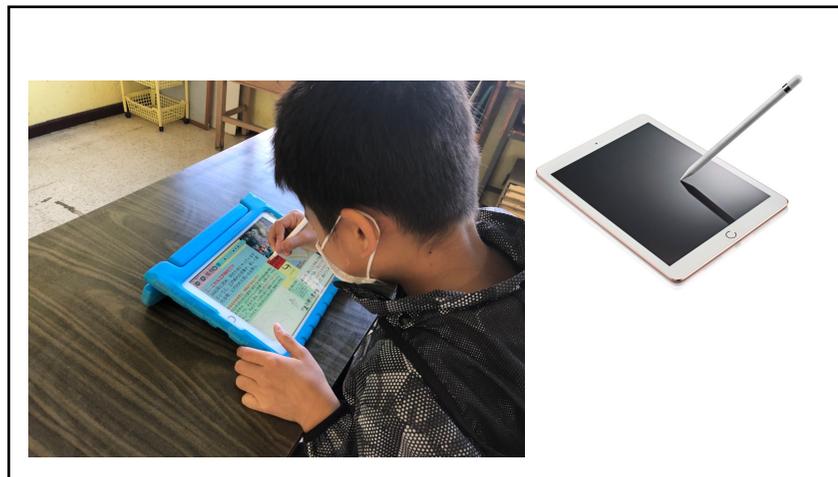
46

**ICTが苦手な教員はいなかったのか**

47

**たくさんいました！**

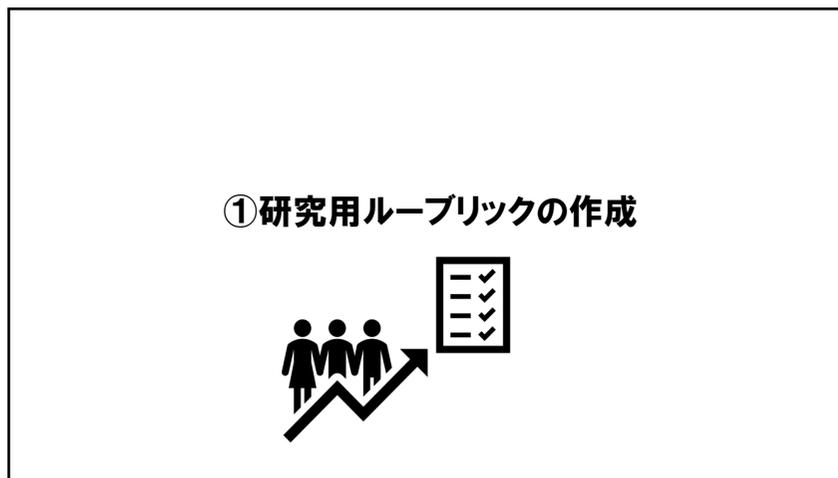
48



49



50



51

**<教員用>(一部抜粋)**

S1	S2	A1	A2	観点
ICTを活用することで、本校外部との関わりを日常的にし、児童生徒が考えを深めたり、表現をしたりする機会を充実させることができる。	本校外部との関わりを通して、児童生徒が多様な意見に触れることのできるようになるために、ICTを活用することができる。	児童生徒が、学習に関する多様な情報に触れることができるようにするために、ICTを活用することができる。	職務や授業において、日常的にICTを活用することができる。	<b>ICT活用力</b>
(S2における右記の技能に加えて) <input type="checkbox"/> 授業時間以外でもICTを通して外部と交流する機会を設けることができる。 <input type="checkbox"/> ロイノートやその他のアプリケーションで学習作品や発表データを作成させ、外部と交流することができるようにする。 <input type="checkbox"/> 児童生徒が積極的にICTを活用して、情報を発信することができる場を設けることができる。 <input type="checkbox"/> 普段から児童生徒の学習における必要性に応じて、遠隔合同学習を行うことができる。 <input type="checkbox"/> iPadを年間継続して授業や職務で活用することができる。	(A1における右記の技能に加えて) <input type="checkbox"/> Zoomなどで、他校や外部機関・人材と顔を合わせて交流するまたは学習する場をもつことができる。 <input type="checkbox"/> ロイノートやGoogleドキュメント・スプレッドシートなどを活用して、互いの様々な意見を共有することができるようにする。 <input type="checkbox"/> 児童生徒が目的に応じてアプリケーションを選択できる環境を設定することができる。 <input type="checkbox"/> 共有した画面やアプリケーションに、児童生徒が自分の考えを書き込めるようにすることができる。	(A2における右記の技能に加えて) <input type="checkbox"/> 写真や動画など学習に関する資料をZoomにおいて共有することができる。(チャットへのURL・ファイルの添付、画面共有、ミラーリング等) <input type="checkbox"/> バーチャル体験をさせることができる。(Zoomカメラ機能を活用し実物を見せる・インタビューをする等) <input type="checkbox"/> 写真や動画など学習に関する資料データを、iPad等で児童生徒に配信することができる。 <input type="checkbox"/> ロイノートなどに学習に関する資料を保存し、児童生徒に共有させることができる。	<input type="checkbox"/> 職員間の共通理解を図るために、クラウドやAirDropによって学校資料を閲覧、編集することができる。 <input type="checkbox"/> 大型モニターにPCやiPad等の画面を映すなど、授業でICT機能を活用することができる。 <input type="checkbox"/> 授業においてタブレットやPCを児童生徒に使用させることができる。 <input type="checkbox"/> Microsoft officeを遠隔授業等で活用できる。	<b>具体的な技能</b>

52

### <児童生徒用>(一部抜粋)

S	A1	A2	
結論からさらに新たな課題や知識を創造し、解決に向けて推論したり、発表からさらに良い表現方法に気付いたりすることができる。	これまでの知識や技能を活用し、新たな知識・技能を獲得し、考えたことを発信することができる。	自分の考えをもって、学習に取り組むことができる。	思考力・表現力・判断
(A1における右記の姿に加えて) □課題や問いの結論について振り返ったり、新たな課題や問い、知識などを創造することができる。 □新たな課題や問いに対して、どのように問題解決をするか考えたり、実際に解決しようしたりすることができる。 □表現したことを振り返って新たな表現方法に気付いたり、聞き手の意見や反応を元にさらに考えを深めたり、表現を工夫したりすることができる。	(A2における右記の姿に加えて) □課題や問いの解決に向けて情報を整理・比較し、相違点や類似点に気付くことができる。 □対話や知識・技能を活用することで、新たな知識・技能を獲得することができる。 □課題や問いに対する自分の結論を決定し、ノートにまとめたり発表することができる。 □考えや学んだことを、言語だけでなく、図や写真、スライドなど工夫して表現することができる。 ※発達段階に応じた表現技法	□自分の考えをもち、ノートに書いたり発表したりするなど表現することができる。 □課題や問いに対して予想をもち、必要な情報を探したり選んだりすることができる。	具体的な姿

53

### ②PMIQシートの活用



54

サンホセ日本人学校【遠隔授業記録】4 5/4(月)~8(金)			
P ( 良い・分かったこと )	M ( 課題 )	I ( 面白い・工夫 )	Q ( 問い )
<ul style="list-style-type: none"> <li>遠隔授業は話す・聞くの学習にはもってこいだと思います。ただでさえ伝えづらいうのでどうしたらよいかよく考えられます。</li> <li>体育の授業では、それぞれ動きやすい場所で安全にできるようにできています。このまま続けていける。</li> <li>ロイロノートを導入することで、分かっているつもりの人たちが全然理解していないことが把握できます(しかも算に公開せず)(数学)</li> <li>申しは現在版ですだけでなく、文法・熟語などを使いつながり文章を書く活動に入っています。チャット機能、ロイロノートを活用しての決まり、大文字・小文字、ピリオドなどに気を付けてながら英文を書く練習をするのですが、Nさんはなかなか大文字を書き始めたり、ピリオドをつけない状況です。しかし、Nくん、Nさんともに誰のなかで文章を書くことが得意なものでまずタイピングで慣れろ、英語に慣れるのもいいかも、とこの状況での色々今までの指導を振り返るいいチャンスだと思いました。(中1英語)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>課題によってインターネット環境が異なる環境があり、遠隔授業の途中授業に参加できないことがあった。こうした状況への対応をどうするか。</li> <li>基本的な練習データを渡す。メール添付かロイロノート等</li> <li>中学部数学の内容が難解になってきた。このまま進捗で管理できるか不安感あり</li> <li>見たことのない名前が待機室に入ってきたので許可しなかったが、家庭によって端末をえているアカウントもある。一人の名前がわかるものでなければ基本的には入室は許可しない。その旨を伝えておく</li> <li>ロイロノートに関して、iPadで作成したスライドが、WebやAndroidからアクセスすると、文字化けしたり形式が崩れたりするうまく運ばない。</li> <li>現在はそれを考慮して、同端末で撮影、形式が変わらない壁での作成で対応。やはり有効に活用するならばiPadがよいところ</li> <li>保護者より質問「時間内に授業が終わらなければいい。特に授業の入室が遅い」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>私を呼んだらひらがな指導。止め、はね、私などに意識させることができた(1年生)</li> <li>交通・高層ビル・土地利用・公共施設の分布などの地図を共有し、それぞれの特徴を、共有への書き込みでそれぞれ、別の地図に重ねることで、トレーニングゲームで遊ばないようになり良かった。</li> <li>本日はグラフ機能を活用し書き込ませたいところ</li> <li>トランプを使用した正の数・負の数ゲーム。楽しくできた(数学)</li> <li>サーキットトレーニングの要素。汗をかきながら運動的に取り組めた(体育)</li> <li>得意-得意のインターネット共有で対応</li> <li>ラジカセをマイクの横に置いて音声を聞くことができる。全員で歌うとZoomの制限がないので、みんなが全部</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>問題学習に気づかぬ心でいる。問題はどうかですか？(課外・数学)</li> <li>画面をオフしておく</li> <li>共同画面でタイマーなどを表示しておく</li> <li>共有ホワイトボード機能を利用して問題を示しておく</li> <li>画面をオンにして映り込まないようにしています</li> <li>授業の進捗に応じて、授業で理解か</li> <li>授業時間になっても入室してこない子どもへの対応をだれがやるか</li> <li>授業者が電話連絡。その際は子どもには自習などを指示して持っていてもらう。</li> <li>動画を事前にダウンロードしておく方法がありますか。</li> <li>「Video Proc」というソフトが便利です。(ただし体験版だと5分まで)あとは、スクリーンショットで動画を撮影し保存。・・・ですかな</li> <li>iPhoneやiPadなる動画記録という機能がおすすめです</li> <li>Zoom録画が失敗することがあります。なぜ</li> </ul>

55



## もはや 職務に 欠かせない ものに

56

# さらにより良い授業をつくるために

57

# 合同学習の簡易報告書 作成



58

**サンホセ日本人学校オンライン合同学習実施報告書**

連絡先：アプスアカリントン日本人学校 報告者： 宮本 肇

実施月日	10月4日	単元	地震	合同学習形態	直接
対象学年	小4	教科	社会	単元	地震からくらしをまもる

**目的：**  
実際に地震が起きたときを想定し、避難の準備を促すことで多様な考え方に触れることで、地震の対応の備えや、避難から命を守るための対応が身に付くように期待する。

**状況：**  
一人学級での合同学習。自分とは異なる考えに触れることがほぼない。自分の考えを表明することができず、考える時間も短い授業であった。考えを表明したり伝えたりするが苦手。

**手立て：**  
①AC校と地震シミュレーションゲームを行う  
②立場（住民・避難所の職員・親・自分など）や視点（各判断のメリット・デメリットなど）を変えて意見交換をする  
③グラフレコードを使って、話し合いをしながら自分の気持ちを相手に伝える

**結果：**  
グラフレコードで意見交換も表明できない児童も表明することができた。様々な立場や視点からの意見が積極的に交わられ、「なるほど」と同意も返していた。判断に迷い悩まざる者が多く、地震時の備えと大切さを理解できた。

「主体的・対話的で深い学び」の実現状況 以下の項目を達成するための工夫ができたか

主体的な学び	対話的な学び	深い学び
興味・関心を高める	<input type="checkbox"/> 子ども同士の対話の場の充実	<input type="checkbox"/> 教科の見方・考え方を生かす
粘り強く取り組ませる	<input type="checkbox"/> これまでの知識・理解だけでは説明できない状況づくり	<input type="checkbox"/> 新たな問いや課題や考えを創造させる
見通しをもたせさせる	<input type="checkbox"/> 授業における「問い」の焦点化	<input type="checkbox"/> 学びを通して解決する場面設定
振り返りをさせる	<input type="checkbox"/> 協働して解決する場面設定	<input type="checkbox"/> 考えを伝え合うことを通じて概念を形成させる
	外部人材、先輩との対話設定	

59

**サンホセ日本人学校オンライン合同学習実施報告書**

連絡先：アプスアカリントン日本人学校 報告者： 宮本 肇

実施月日	10月4日	単元	地震	合同学習形態	直接
対象学年	小4	教科	社会	単元	地震からくらしをまもる

**目的：**  
実際に地震が起きたときを想定し、避難の準備を促すことで多様な考え方に触れることで、地震の対応の備えや、避難から命を守るための対応が身に付くように期待する。

**状況：**  
一人学級での合同学習。自分とは異なる考えに触れることがほぼない。自分の考えを表明することができず、考える時間も短い授業であった。考えを表明したり伝えたりするが苦手。

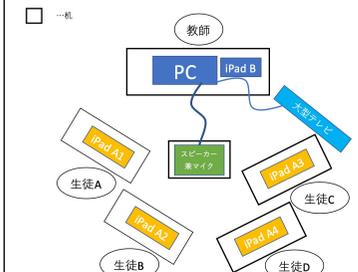
**手立て：**  
①AC校と地震シミュレーションゲームを行う  
②立場（住民・避難所の職員・親・自分など）や視点（各判断のメリット・デメリットなど）を変えて意見交換をする  
③グラフレコードを使って、話し合いをしながら自分の気持ちを相手に伝える

**結果：**  
グラフレコードで意見交換も表明できない児童も表明することができた。様々な立場や視点からの意見が積極的に交わられ、「なるほど」と同意も返していた。判断に迷い悩まざる者が多く、地震時の備えと大切さを理解できた。

「主体的・対話的で深い学び」の実現状況 以下の項目を達成するための工夫ができたか

主体的な学び	対話的な学び	深い学び
興味・関心を高める	<input type="checkbox"/> 子ども同士の対話の場の充実	<input type="checkbox"/> 教科の見方・考え方を生かす
粘り強く取り組ませる	<input type="checkbox"/> これまでの知識・理解だけでは説明できない状況づくり	<input type="checkbox"/> 新たな問いや課題や考えを創造させる
見通しをもたせさせる	<input type="checkbox"/> 授業における「問い」の焦点化	<input type="checkbox"/> 学びを通して解決する場面設定
振り返りをさせる	<input type="checkbox"/> 協働して解決する場面設定	<input type="checkbox"/> 考えを伝え合うことを通じて概念を形成させる
	外部人材、先輩との対話設定	

ICT機器レイアウト（直接のみ）



生徒A iPad A1  
生徒B iPad A2  
生徒C iPad A3  
生徒D iPad A4

教師 PC iPad B  
スピーカー兼マイク

生徒A iPad A1  
生徒B iPad A2  
生徒C iPad A3  
生徒D iPad A4

生用Zoomはオーディオを切断し、スピーカー兼マイクで授業の音声を全て拾ったが、音量も抑えられ大きく出さなくても相手に届くようになった。自分自身でも聞けなかった。児童はiPadでZoomに入ると、顔が小さく見えないようにした。これにより、相手の顔をしっかりと見ながら会話が可能だった。資料や動画共有時の顔を大きく表示するために大型テレビに数台設置した。生徒の顔にカメラが映らなかったところを見逃さず対応した。スピーカー兼マイクの音質は、本校で使用しているものは抜群に良い。

60

**サンホセ日本人学校オンライン合同学習実施報告書**

実施月日 10月4日 教科 社会 単元 地震からくらしをまもる 合同学習形態 直接

目的: 学習に困難が生じたときや、学習内容が理解できず多様な意見が聞かれること、知識の対話の場をもち、異なった立場から学習して考えが広がり深まることと目的とする。

状況: 一人学級なので同級生の、自分とは異なる考えに触れることが少ない。自分の考えを深めることができず、考える過程も深い学習経験である。考えを発表したり伝えたりするのが苦手。

手立て: ①AC校と地震シミュレーションゲームを行う  
②立場（住民・避難所の職員・親・自分など）や視点（各判断のメリット・デメリットなど）を変えて意見交換をする  
③グラフレコードを使って、話し合いをしながら自分の気持ちを手紙に伝える

結果: グラフレコードで意見交換の様子も表現できない児童も表現することができた。様々な立場や視点からの意見が積極的に述べられ、「なるほど」と表現も返していた。明確に意見を述べることができ、知識の対話の場もより充実した。

**「主体的・対話的で深い学び」の実現状況** ※以下の項目を達成するための工夫ができた

主体的な学び	対話的な学び	深い学び
興味・関心を高める ○	子ども同士の対話の場の充実 ○	教科の見方・考え方を生 ○
粘り強く取り組ませる ○	これまでの知識・理解だけでは説明できない状況づくり ○	新たな問いや課題や考えを創造させる ○
見通しをもたせる ○	授業における「問い」の焦点化 ○	考えを伝え合うことを通して概念を形成させる ○
振り返りをさせる ○	協力して解決する場面設定 ○	
	外部人材、先哲との対話設定 ○	

ICT機器レイアウト (直接のみ)

生徒用Zoomはオーディオを切断し、スピーカーマイクで教室の音声全てが聴けたが、児童も教師も大きな声を出さなくても相手側によく聞こえた。出力に際しても問題なかった。児童はiPadでZoom入室させ、顔もしっかり見えるようにした。顔も基本的に自分のiPadの画面を見るようにさせた。これにより、相手の顔をしっかりと見ながら合同授業ができた。資料や画面共有時のQRの読み取りを大きく表示するために大型テレビに教師用画面を映す。生徒の顔にトラブルがあった際もこちらを指せることで対応できる。スピーカーマイクの性能は重要。本校で使用しているものは後者に良い。

61

**「主体的・対話的で深い学び」の実現状況** ※以下の項目を達成するための工夫ができた

主体的な学び	対話的な学び	深い学び
興味・関心を高める ○	子ども同士の対話の場の充実 ○	教科の見方・考え方を生 ○
粘り強く取り組ませる ○	これまでの知識・理解だけでは説明できない状況づくり ○	新たな問いや課題や考えを創造させる ○
見通しをもたせる ○	授業における「問い」の焦点化 ○	考えを伝え合うことを通して概念を形成させる ○
振り返りをさせる ○	協力して解決する場面設定 ○	
	外部人材、先哲との対話設定 ○	

**記録を重ねる ⇒ 十分でない項目が明確になる**

↓

**授業改善の指標に**

62

**課題の解決に向けて…**

↓

**合同研究授業**

63

**小学部6年**

**特別な教科道徳「友達とは」(B 友情・信頼)**

**(2021.10.14)**

64



ひかり学院サンホセ日本人学校 2021/6/1  
6年生 クラス写真

SJ校: 1名  
AC校: 2名

- ・自分から発言するのが苦手
- ・自分の考えをもったり、考えをまとめたりするのが苦手 (そもそも話合いが苦手)

65

# 本授業のポイント

66

## 「良い話の聞き方」ループリックの活用

これまで行ってきた  
国語の合同授業で  
作成



自分と相手の考えを比べて聞くことができた。  
→同じところ、ちがうところ

疑問をつくって聞くことが  
できた。→質問してみる。

「確かにそうだな。」  
→相手の考えを  
取り入れた。

よい話の聞き方

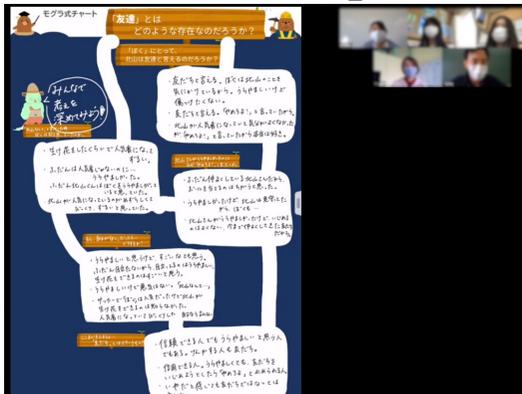
67

## 独自のシンキングツール「モグラチャート」

「問い→対話→問い→対話→…」のサイクルを繰り返す

↓

主題について考えを深める  
(掘り深める)



68

## Googleドキュメントシートによるまとめ

互いの意見を可視化

<input type="checkbox"/> 子ん	より良い友達関係を築いていくには仲良しさや信頼も大事だけれどうらやましさも大事だと思います。けどそのうらやましさを短みに変えていじめるのではなく、「すごいな」と良さに変えることも大事だと思います。
<input type="checkbox"/> さん	うらやましいと思ってもいじめようとするのに否定をする。もし友達が高齢になっていじめをしようにするのには難関などをしたためということを授業をとうして知りました。また、友達同士信頼出来る関係になりたいと思いました。
<input type="checkbox"/> 子ん	友達と言える存在とは、羨ましいなど思ったり喧嘩などをしても、相手の思っているなら友達、または親友と言えるかなと思いました。毎日一緒にいると信頼できるから相手を信つける人とはあまり関わらないようにするなどトラブルから私たちと友達を守られるように工夫していきたいです。さらに、友達ともっと仲良くなるように言葉選びやこれは必要かなど気にかける事も大切です。

69

- ・自ら問いを立て、意見を発表し、  
**児童主体で話し合いを進めることができるようになった。**
- ・問いが焦点化されたこと、話し合いの仕方が定着したことで、  
**より話し合いが活発化し、新たな考えの深まりや広がりがみられた。**
- ・対話が十分に行われ、友人の意見が可視化できることで、  
**自分の気持ちの変化や考えが伝わるまとめを書けるようになった。**

70

## 授業分析→手立ての日常化

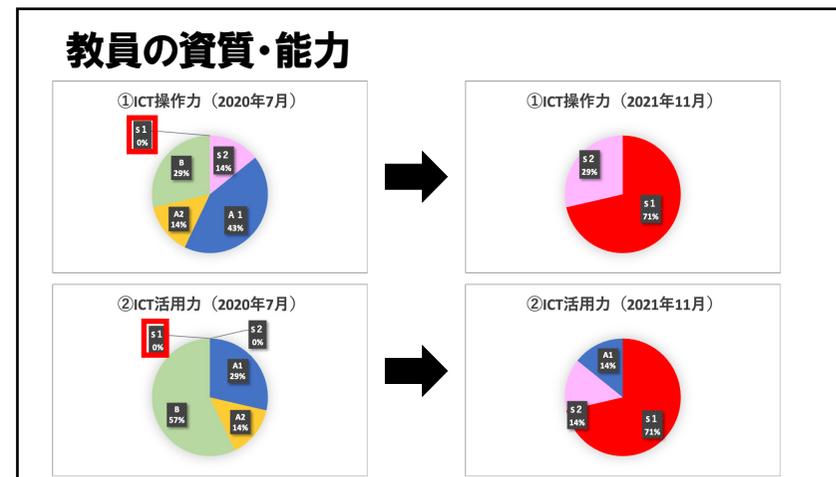
71

## 研究成果

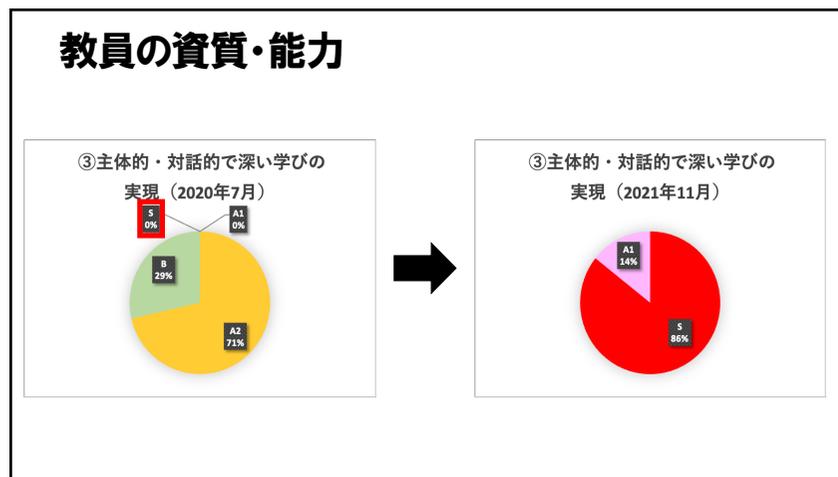
72

## 研究用ループリックによる 資質・能力の変化

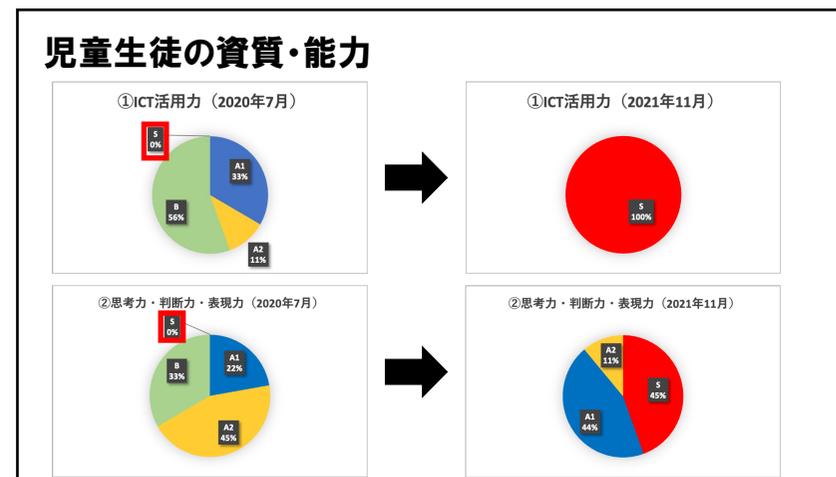
73



74



75



76

## 子どもたちの声

「早くまた会いたいな」  
 「サンホセアグアス〇年学級ですね」  
 「ここで思ったことを□□さん達にも教えたい！」  
 「メキシコにも行ってみたい！」

日本に帰った後の交流にも！！

77

## 子どもたちの声

「考えたこともない意見をたくさん聞けた」  
 「〇〇さんが言っていたことをもっと考えたい」  
 「□□さんが言いたいことがなんだろう？」  
 「一緒に考えたい！」

つながることで、新たな問いや思いが  
 生まれた！！

78

## 教員のつながりも



79

## R4合同授業はまだまだ続く



80

## 日本でも合同授業



81

つながりが増える → 発見が増える



82

つながりが  
可能性を広げる

83

ご清聴ありがとうございました。

つくば市立島名小学校 宮本豪

84